



東日本大震災復興支援
つながろう
CO-OP アクション

支援活動ニュース

No. 3

コープさが生協総務部組織企画
(2011年6月2日発行)

村田理事長が福島県いわき市のボランティア活動から無事帰ってきました。



全員一丸となつてがれきの撤去に取り組みました



マッチングの様子です

被災者への配慮のため個人の写真撮影は禁止されましたので、ボランティアセンター撮影をのせています。

佐賀社会福祉協議会派遣の災害支援ボランティア活動に行っていました。

参加者20名予定の当日19名の参加でした。定年前後の高齢者から若い層(福祉関係者が多い)までとバラエティに富んだ参加者でした。女性も5人と福島近辺に過去住んでおられた人が参加されました。

現地では4種類の作業を経験しました。毎日150名から200名の全国からのボランティア参加があり、毎朝8時30分に集合し、マッチング(自分に合った仕事を決めること)をして、16時まで5名ずつのチームを組んで活動しました。

非常な重労働を覚悟していましたが、毎朝マッチングという工程で自分にあった仕事を選べるので、無理はしないで済みました。

現地も高齢者が毎日自分で修復作業をしているので、支援者も高齢でも対応できます。

佐賀県の社協は福島県のいわき市を重点地区として支援をしています。

私の現地作業は 瓦礫の選別と搬出作業
床下浸水の泥かきだし作業 側溝の泥だし作業
瓦礫整理とガラス破片選別 を経験しました。

現地の被災者には大変喜ばれました。佐賀からのいいメンバーとも知り合えて、いい体験をさせて貰いました。今後につながったと思います。ボランティアは年齢を問わず求められていますし、活用できると思います。

(コープさが生協理事長 村田啓一)

現地支援のボランティア活動参加の組合員、職員からの募集について

佐賀からのボランティア派遣については、今後県内のボランティアセンターのほか、日本生協連、現地の生協などからの派遣可能な情報を紹介してまいります。派遣費用は現地までの旅費と宿泊費とボランティア保険代を主催団体が生協で負担します。その他の費用は、個人負担とします。組合員と職員のボランティア希望者は、総務部組織企画グループの牧までご連絡ください。職員は通常有休とは別に有給のボランティア休暇の制度を設けました。業務の都合が付き次第派遣可能です。

救援募金は下記の注文番号にて
長期間いつでも申し込みができます
注文番号 **378470** 一口 = 100円

救援募金の状況(2011年6月2日現在)

6月1日からの委員会主催「くらしのスキルアップセミナー」で1300円の募金をいただきました。
募金累計4,633,053円